



図書だより



安波小図書室
平成28年 1月12日



1月



あけましておめでとうございます

今月の図書目標

世界の国々を知る本を読む
(読書目標を達成しよう)

新しい年が明け、子どもたちは元気に新学期を迎えることが出来ました。一段と成長し、たくましく感じます。今年もみなさまにとって、素晴らしい年でありますよう祈願いたします。

三学期は、まとめの学期です。年間目標を達成できるようにがんばって下さいね！

新しい年のはじめは、空気までがすっかり新しくなったようなすがすがしさを感じさせてくれます。

一月のことを日本の古いよびかたで（睦月）といいます。これは、新しい年を、みんなで（なか睦まじく）いわうつきという意味です。このほかにも（太郎月）（初春月）（祝月）などのよび名があります。

豆ちしき



※門松は、なんのためにあるの？

昔から木の枝などには、神様がやどるとかんがえられていました。そこから、家族の健康をまもり、豊作をあたえてくれる年神様が、山からおりてくる目印になるように、家の門口に松や竹をかざるようになりました。門松の松には、（神様をまつ）という思いもこめられていたようです。

※鏡もちには、どんな意味があるの？

鏡もちは、天皇の象徴である三種の神器のひとつでもあった、丸くてひらべったい鏡ににせてつくったおもちのことだといわれています。正月には、大小の鏡もちをかさねて年神様におそなえします。鏡もちに年神様がやどって、どうか福がきますようにという願いがこめられているともいわれます。

鏡もちには、長生きを意味する（ウラジロ）のほかに、のちの世まで福をゆずる（ユズリハ）家が代々さかえる（ダイダイ）、よろこぶの意味の（コンブ）、しあわせをつつみこむ（干しガキ）、こしがまがるまで長生きをねがう（伊勢エビ）などをいっしょにかざります。

※しめなわは、どんな意味があるの？

しめなわは、わざわざもたらす神様が家の中にはいってこないようにくぎって、めでたい神様をむかえるための準備ができたという印にしたものです。正月のしめなわは、前の年の秋にとれたイネのくき（わら）でつくります。現在でわ、しめかざりとよばれるように、玄関の正面にかざるおかざりの形もあります。鏡もちとおなじようにウラジロやユズリハ、ダイダイ、コンブ、エビなどのかざりをつけたりもします。



保護者(のみなさま、清美さん、三学期もよろしくお願ひします。
(森岡さんが、お仕事の都合で三学期はお休みします。)



※今年の読み聞かせは、1月18日(月)からスタートしたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

与座清美さんの読み聞かせ、賀数さんのおりがみ教室